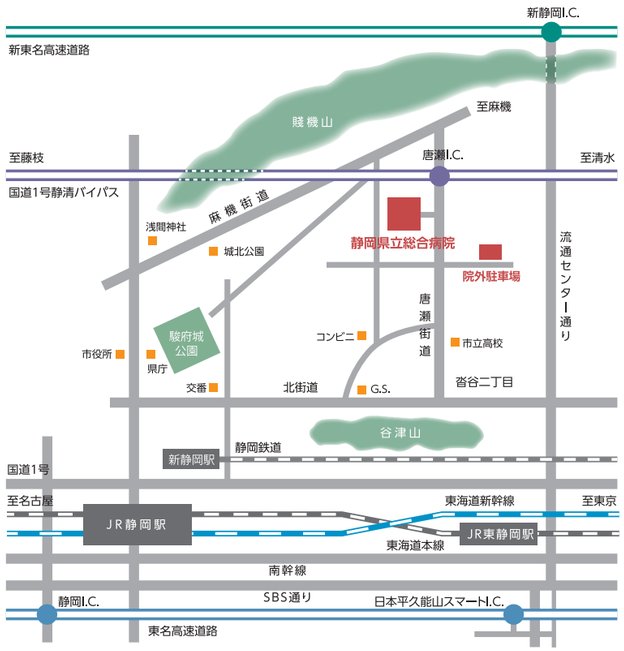


- JR東海道新幹線（ひかり）で東京から約1時間、大阪から約2時間　JR東海道本線で沼津から約50分、浜松から約75分
- JR静岡駅前からバスで約25分　県立病院高松線、上足洗線、唐瀬線の、県立総合病院 等で下車
- JR静岡駅前からタクシーで約15分
- 自家用車でお越しの場合、院内駐車場【有料】を利用

地方独立行政法人　静岡県立病院機構

静岡県立総合病院

Shizuoka General Hospital

〒420-8527　静岡県静岡市葵区北安東４丁目 27-1

TEL. 054-247-6111　FAX. 054-247-6140

https://www.shizuoka-pho.jp/sogo/

日本医療機能評価機構
認定第 JC154 号

地方独立行政法人　静岡県立病院機構

静岡県立総合病院

Shizuoka General Hospital

Shizuoka General Hospital

理念　信頼し安心できる 質の高い全人的医療を行います

ご挨拶

院長代行 井上 達秀

静岡県立総合病院は、県の中核病院として質の高い医療を提供しています。消化器、呼吸器、糖尿病・内分泌代謝、腎、女性・小児、運動機能、感覚機能などのセンターが先進医療を展開しています。3大疾病である「がん」においては各診療科と化学療法センター、緩和ケアセンター等ががん診療部を形成し、「心疾患」では循環器病診療部、「脳血管疾患」では神経センターが高度急性期の医療を行っています。高度救命救急センターはドクターヘリを受け入れて重症救急の砦となっています。

私たちの病院には優れたメディカルスタッフが揃い、高い医療の質を保証しています。患者さんの身近にいつもいるのが看護師なのはご存じでしょう。薬剤師や診療放射線技師、臨床工学技士は例えば手術室や病棟でも活躍しています。術前後には、リハビリテーション技師、管理栄養士や臨床検査技師が直接患者さんに向き合っています。病院すべての職員が最善の医療を目指し、未来を拓いていくことが私たちの病院の使命です。

基本方針

- 医療を受ける人々の立場に立ち、説明に基づく心のこもった医療を行います
- 県内の中核病院として高度医療や先進医療に取り組み、地域医療を支援します
- 救急医療、災害医療、へき地医療、結核医療などの政策医療を積極的に担います
- 将来の医療を担う質の高い人材を育成します
- 快適な職場環境の整備と透明性の高い健全な病院運営に努めます

10年後のビジョン

- 「どの職種」「どの診療科」においても、心のこもったプロフェッショナルな医療が提供されている
- 静岡県立総合病院が、この国の代表的な病院として全国から認識されている
- 医師・看護師・メディカルスタッフなど全ての職員が、活き活きと笑顔で働いている
- 私たちの次の世代が育っていて、その次を支える人材育成（教育）システムが稼働している

がん医療
Medical

患者さん一人一人に寄り添う

静岡地区唯一のがん診療拠点病院（高度型）です。
PETなどの高性能診断機器や手術支援ロボットなどの先端機器を駆使し、
様々ながんに対して手術、化学療法、放射線治療、遺伝子診断など、
一人一人に適した治療を行っています。
総合病院であり高齢者、合併症を伴う患者さんのがん治療の経験も豊富で、
中部地区のみならず県内全域から患者さんが紹介されてきます。

ゲノム医療センター

遺伝診療科　臨床ゲノム診療科　ゲノム医療支援科

各専門診療科や外部医療機関と連携し“遺伝カウンセリング”等の遺伝に関する医療を行います。

化学療法センター・腫瘍内科

がん薬物療法を安心して受けられるように、医師・看護師・薬剤師・公認心理士・栄養士が連携して診療を行っています。

血液内科

2019年8月から無菌病棟が稼働。移植は病棟内の幹細胞移植室（SCTU）という専門エリアで治療を行っています。

消化器センター

消化器内科　消化器外科

良悪性、急性疾患を問わず、消化器内科、消化器外科、腫瘍内科医が協力し最適の治療、高度医療を提供しています。

呼吸器センター

呼吸器内科　呼吸器外科

最も多い肺癌を主とし、肺炎、びまん性肺疾患、気胸、気管支喘息やCOPD、呼吸不全と活動性肺結核の治療と多岐にわたっています。

放射線部

放射線科　核医学科　PETイメージングセンター

放射線部では現在の医療には欠かせないさまざまな画像検査・放射線治療を、専門スタッフが組織的におこなっています。

緩和ケアセンター

緩和医療科　緩和ケア支援科

疼痛や呼吸苦、不安やせん妄などの症状緩和に、主治医や病棟スタッフとともに取り組んでいます。

救急医療

24時間365日地域における急性期医療の対応、重篤な病態への対応を行います

高度救命救急センターとして指定されており、
循環器や脳血管疾患、心停止後症候群、重症感染症、
多発外傷の他、重症熱傷、急性中毒などの特殊疾患を受け入れています。
また、高度な医療設備、救命救急専用病床を備え、
初期診療から入院後の集中治療にまで対応しています。

ドクターカー・ヘリ

医師派遣用緊急自動車“ドクターカー”での出動や、消防ヘリコプターのドクターヘリ的運航により、救急隊と共に現場でいち早く医療を提供する活動を行っています。

救急救命士

医師や看護師の診療補助を行っています。要請があればドクターカーで出動し現場で活動する場合もあります。

重症処置・緊急手術室

高度救命救急センター・ER

常に予測性、準備性、即応性をもって救急搬送患者を受け入れ、いち早く救命ができるようチームワークを心がけています。院内急変コールにも応援に駆けつけます。

集中治療センター・集中治療病棟（ICU・HCU）

院内唯一の集中治療病棟であり、高度な医療機器を備え、全人的医療を行えるよう多職種の意見を取り入れた集中治療を行っています。

循環器医療

患者負担を軽減し、より高度な医療の提供を

循環器病センターでは、
心疾患、脳血管疾患による死亡率の低減を目的として
治療に取り組んでいます。
高度救命救急センターから心血管撮影・治療室、脳血管撮影。
治療室、CCU（心疾患集中治療室）を専用エレベーターで結び、
心疾患、脳血管疾患の救急診療体制を整えています。

心臓血管外科

患者さんの早期復帰を目標とし、ロボット心臓手術などを積極的に取り入れています。
心臓手術、大動脈手術、末梢血管手術、重症心不全に対する左室補助人工心臓手術など、心臓外科に関するすべての手術に対応可能で、緊急も24時間体制にて行っています。

循環器内科

経カテーテル的大動脈弁置換術（ＴＡＶＩ）、経皮的僧帽弁接合不全修復術（MitraClip）、補助循環用ポンプカテーテル（IMPELLA）導入、経皮的心房中隔デバイス施設認定など、新たな治療・技術を、積極的に導入しています。

神経センター

脳神経内科　脳神経外科

脳血管障害の急性期治療や脳血管内治療（カテーテル治療）をはじめ、専門的治療を必要とする種々の中枢神経疾患（精神疾患を除く）、末梢神経疾患、筋疾患などの診療にあたっています。

麻酔科・ペインクリニック科

県内有数の手術件数を誇り、難易度も高い手術が多い中、患者の生命の安全を守る非常に重要で責任の重い役割を担っています。

心臓リハビリテーション科

心臓病の患者さんに、運動療法、生活習慣改善などの指導、教育をおこなうものです。

腎センター

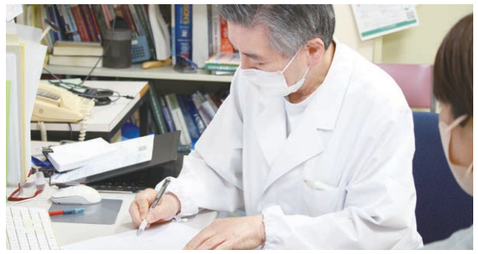
腎臓内科　腎臓研究科　泌尿器科

人工透析や腎移植からロボット手術まで、腎臓・泌尿器系臓器に起こる内科的、外科的治療を行っています。

様々な疾患を診る充実の医療体制

当院の使命は、高度・専門・特殊医療及び
急性期医療の分野において第一級の病院であること、
及び地域医療確保の支援を行うことです。
多岐にわたる様々な診療科が、
その専門性を活かし、この地域の医療を支えています。

総合診療センター 総合内科



日々様々な訴えに意見を求められ対応しています。診断が難しく確定不能な症例は多いですが日々、努力しています。

女性・小児センター 産婦人科 乳腺外科 女性科 小児科

女性と小児に関わる様々な疾患に対応しています。2024年からは体外受精（IVF）も実施。婦人科ロボット手術は2014年県内初の施設として開始しました。

運動機能センター 整形外科 リハビリテーション科

慢性疾患と救急外傷の積極的な治療と、様々な環境に応じた作業・理学・言語療法を行っています。

産婦人科病棟（LDR）

2018年に産婦人科病棟がリニューアルしました。

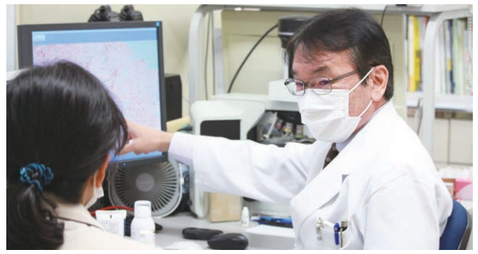
糖尿病・内分泌代謝センター 糖尿病内科 内分泌内科

豊富な研究成果に裏打ちされた高度で先進的な糖尿病診療と内分泌疾患の診断治療を県民に提供しています。

歯科口腔外科

顎や口腔内の外科的治療を専門としており、周術期における口腔の管理にも取り組んでいます。

皮膚科



年間皮膚生検件数は約千件で県内では突出しています。診断には先進的な診断方法を多く取り入れています。

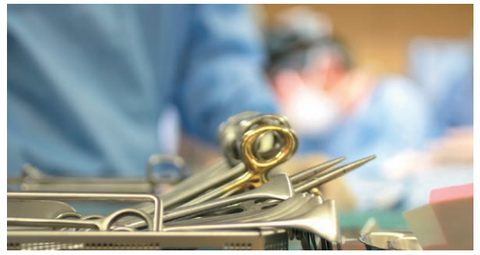
病理学部 病理診断科 分子病理科

免疫染色の精度管理と新規抗体の導入による病理診断の質の向上に努めています。

感覚機能センター 眼科 頭頸部・耳鼻いんこう科

眼科と頭頸部・耳鼻いんこう科において、地域を支える診療を提供しています。

形成外科



悪性腫瘍切除後の再建手術や外傷、難治性潰瘍、瘢痕拘縮など幅広い形成外科疾患の治療を行っています。

精神診療部

精神科身体合併症病棟を運営しています。また一般病棟に入院中の患者さんの精神症状や心理的な問題にケアを行っています。

標榜診療科目

- 内科
- 救急科
- 心療内科
- 精神科
- 循環器内科
- 心臓血管外科
- 腎臓内科
- 泌尿器科
- 糖尿病・内分泌内科
- 脳神経内科
- 脳神経外科
- 消化器内科
- 消化器外科
- 呼吸器内科
- 呼吸器外科
- 産婦人科
- 乳腺外科
- 小児科
- 整形外科
- リハビリテーション科
- 心臓リハビリテーション科
- 眼科
- 頭頸部・耳鼻いんこう科
- 血液内科
- 皮膚科
- 形成外科
- 歯科口腔外科
- 麻酔科
- 放射線科
- 病理診断科
- 腫瘍内科

私たちは教育と医学研究に力を入れています

基本方針:病院理念を理解し、常に医療を受ける人々の立場にたち、
地域医療に貢献できる医師となるよう、
プライマリケアの基本的な診療能力（知識・態度・技能）を身につけ、
医師として優れた人格の陶冶を図る。
基幹型研修病院である当院が中心となり、
協力型臨床病院（精神科単科病院、地域・へき地医療担当病院、小児専門病院）と
研修協力施設（療養型病院、介護老人保健施設、保健所、診療所）が
協力して優れた研修医をはぐくむ適切な教育研修体制を提供しています。

医師研修

看護師研修

薬剤師研修

きこえとことばのセンター

難聴児の早期発見と療育に取り組み、普及にも努めています。NTTコミュニケーション科学基礎研究所と共同研究協定を締結し、電気信号から聴覚を獲得するメカニズムの解明や、広く脳発達の過程の解明を目指しています。

メディカルスキルアップセンター（MSC）

各種医療教育用機材や高性能シミュレーターを用いて、日常臨床での技術を習得、技術の更なる向上を目指す目的で開設されました。

リサーチサポートセンター

静岡県民の健康寿命の延伸を実現するための臨床研究を行う"臨床医学研究所"です。当院で臨床と研究を同時にできる環境を整備し、文部科学省より科研費研究機関の指定も受けています。

多種多様な職種に病院は支えられています

病院には様々な分野の異なる専門性を持った職種のスタッフが多く集まっています。
一人の患者さんに対し、多くの職種が関わることで、さまざまな立場の視点を生かし、
患者さん個々に対してよりよいケア、よりよい治療を追及しています。
複合的な疾患を抱え、ハイリスクな患者さんが多い中でも、
多くの職種のスタッフが自身の専門分野を活かすことで、この総合病院を支えています。

当院では多くのチームが活躍しています

チーム医療とは、「医療に従事する多種多様な医療スタッフが、各々の高い専門性を前提に、目的と情報を共有し、業務を分担しつつも互いに連携・補完し合い、患者の状況に的確に対応した医療を提供すること」です。

- 感染制御チーム
- 褥瘡対策チーム
- 栄養サポートチーム(NST)
- 嚥下対策チーム
- 口腔ケアチーム
- 下肢救済チーム
- 認知症ケアチーム
- 重症患者サポートチーム
- 緩和ケアチーム
- 糖尿病透析予防チーム
- 要介護患者支援管理チーム
- 排尿ケアチーム
- 不整脈チーム
- 精神科リエゾンチーム
- 脳卒中チーム
- FLS(骨折リエゾンサービス)チーム
- 肝炎対策チーム
- 慢性腎臓病透析予防診療チーム

薬剤師

臨床検査技師

診療放射線技師

言語聴覚士

理学療法士

作業療法士